

KACE®システム管理アプライアンス (K1000) 7.1

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス (K1000) 7.1リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス (K1000) 7.1について.....	3
新機能と強化点.....	3
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	8
システム要件.....	8
製品ライセンス.....	8
インストール手順.....	8
アップデートの準備.....	9
アダプタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバーのアップデート.....	9
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	10
アップデート後のタスク.....	10
正常に完了していることの確認.....	10
セキュリティ設定の確認.....	11
追加のリソース.....	11
グローバル化.....	12
当社について.....	12
名前を超える存在.....	12
当社のブランドとビジョンと、ともに。.....	12
Questへのお問い合わせ.....	13
テクニカルサポートのリソース.....	13
法律上の注意.....	13

Quest® KACE®システム管理アプライアンス (K1000) 7.1リリースノート

このリリースノート文書は、KACEシステム管理アプライアンス (K1000) バージョン7.1に関する情報を提供します。

KACEシステム管理アプライアンス (K1000) 7.1について

KACEシステム管理アプライアンス (K1000) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、物理 / 仮想アプライアンスです。K1000 シリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/jp-ja/products/kace-systems-management-appliance/> をご覧ください。

新機能と強化点

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (K1000) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

- 製品関連のリソースにヘルプからアクセス。このリリース以降、サポート技術情報記事および製品スペシャリストとのライブチャットに、ヘルプペインからすばやくアクセスできるようになりました。また、サービスリクエストをすばやく開いたり、サポート ページへのアクセス、KACE GOモバイルアプリのダウンロードを行ったりできるほか、設定に関する情報も表示できます (ESMP-4869)。
 - i** **注:** この情報は、管理者コンソールおよびシステム管理コンソールでのみ利用できます。ユーザーコンソールでは、このペインには引き続きヘルプコンテンツのみが表示されます。
 - i** **重要:** サポート技術情報記事は、管理者コンソールおよびシステム管理コンソールが英語で表示される場合にのみ利用できます。別のロケールを選択した場合、サポート技術情報記事のリストは表示されません。
- リソース不足のアラート。システムリソースが残り少なくなると、ダッシュボードに 緊急 の警告が表示され、推奨される対応方法が示されます。これらの警告は、アプライアンスで異常に大量のCPU、メモリ、およびディスクリソースが使用され始めると生成されます (ESMP-4819)。
- G Suiteデバイスのサポート。これらのオプションが設定されている場合に、検出スキャンで外部のG Suiteデバイスを検出できます (ESMEC-1914)。
 - i** **注:** G Suiteデバイスを使用するには、Google Appsドメインへのアクセスを許可する資格情報が必要です。
- デバイス フィールドが新規チケット要求に表示される。デバイスがチケットの送信者に割り当てられた場合、それらのデバイスは 新規チケット ページにリスト表示され、送信者のプライマリデバイスがデフォルトで選択されます (ESMAS-283)。
- Eメールループの回避。自動不在返信が原因でEメール通知が延々と続くEメールループや異常な量の受信メールを回避するために、そのようなEメールの処理を停止するようサービスデスクを設定できます。こ

の機能を使用すると、Eメールの件名に含まれる特定のテキストパターンを検出し、必要に応じて受信Eメールのトラフィックのしきい値を設定することができます (ESMAS-359)。

- ユーザーコンソールのローカライズ機能。KACEシステム管理アプライアンス (K1000) ではいくつかのロケールをサポートしています。管理者コンソール、システムコンソール、およびオンラインヘルプは、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語 (ブラジル)、スペイン語で表示できます。これらの言語に加えて、必要に応じてユーザーコンソールをアフリカーンス語 (南アフリカ) などの他のサポートされないロケールに翻訳することができます (ESMP-3923)。
- 未保存の変更をユーザープロンプトに表示する。キューのカスタマイズ ページでレイアウトを変更すると、プレビューする前に変更内容を保存するようユーザーに促す警告が表示されます (ESMAS-3368)。
- セキュリティの向上。このバージョンでは、FreeBSDの最新の内部セキュリティパッチを適用し、すべてのサポートパッケージ (PHP、Apacheなど) を更新して、最新のセキュリティアップデートを反映しています。
- プラットフォームサポートの拡張。Microsoft® Windows® Server 2016およびApple® Mac OS X® Sierra (10.12) がサポートされるようになりました。

製品の新しい機能の詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。サポート対象プラットフォームの詳細については、KACEシステム管理アプライアンス (K1000) の技術仕様を参照してください。

このリリースの新機能については、弊社サポートサイトで公開されているビデオチュートリアルをご覧ください。<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/kb/video-articles?k=what%27s+new>

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

一般的な解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
ユーザーダウンロード ページにある割り当て済みデバイスリストの最初のエントリとして、ページの表示に使用されている現在のデバイスが表示されませんでした。	K1-19228
更新の適用 をクリックした後に、更新を処理中であることが示されませんでした。	K1-19220
ソフトウェアカタログ ページから新しいライセンスを追加すると、正しい個数が表示されず、ページのロードに時間がかかります。	K1-19210
同じ製品の複数のライセンスでダウングレードされた権限の値が異なるため、一貫性のないライセンス数がレポートされていました。	K1-19195
資産のライセンスタイプを変更せずに保存すると、資産名が不要に変更されました。	K1-19180
カスタム資産タイプの名前変更で特殊文字を使用しようとする、エラーが表示されることがありました。	K1-19176
新しいK1000エージェント (バージョン7.0で書き換えられた) には、エージェントが機能できるよう	K1-19163

解決済みの問題

問題 ID

にするWindows PowerShell™に対して強い依存関係があります。以前のバージョンでは、Windows 10に搭載された唯一のバージョンの可能性があるPowerShellの最新バージョンのチェックが行われていませんでした。

修正点：このリリースでは、PowerShell 2.0、PowerShell 5.1、またはその両方に対する検証チェックが追加されています。

ソフトウェアの詳細 ページでエラーが表示されることがありました。 K1-19159

組織のサービスデスクに多数の所有者が存在しており、それらの所有者がチケットの表示を試みると、エラーが発生することがありました。 K1-19154

認証が不要だった場合は、サービスデスクキューのSMTP設定を保存できませんでした。 K1-19150

送信者の連絡先情報 ダイアログボックスの 場所 および マネージャ フィールドに、場所とマネージャ名ではなく、場所とマネージャIDが表示されていました。 K1-19149

レポート ウィザードに、ユーザーが作成したレポートの 削除 ボタンがありませんでした。 K1-19142

プロセステンプレートで、必須フィールドの入力が強制されなくなりました。 K1-19140

RabbitMQへのTCP接続がクローズされると、koneasバイナリでSTARTUPメッセージが送信されていました。 K1-19139

アーカイブされたチケットを検索するときに すべての キュー を検索すると、エラーが発生することがありました。 K1-19105

誤ってオフラインと宣言された可能性があるために、接続中であってもエンドポイントがK1000によって制御されませんでした。 K1-19104

OSのインストール日をレポートする際にエージェントで試みられるサマータイム (DST) 設定の解釈で誤った情報が取得されることがあり、それが原因で、システムで夏時間調整が検出されたときに、OSのインストール日が1時間ずれる結果となっていました。 K1-19096

修正点：日付はDST値を解釈せずにレポートされません。

解決済みの問題	問題 ID
サービスデスクのアーカイブされたチケットページで、優先度、ステータス、および他の列で並べ替えを行うと、エラーが発生することがありました。	K1-19095
ユーザーコンソール：ログインページのカスタムロゴとして表示される画像が破損していました。	K1-19092
K1000エージェントで、4 GBを超えるファイルについて、レプリケーション共有インベントリが誤ったサイズでレポートされていました。これにより、サーバ側でレプリケートされたファイルのサイズチェックが失敗し、繰り返しレプリケートされる結果となっていました。	K1-19024
CCリストに含まれる任意のカテゴリの複数のEメールアドレスが原因で、不正な形式のEメール通知が送信されていました。	K1-19022
所有者のみとしてフラグ付けされた新しいコメントが、添付ファイルがある場合にのみ送信者にEメール送信されていました。	K1-19007
スタンドアロン版がインストールされているときに、マシン数のメータリングでソフトウェアスイートとして測定されていました。	K1-18786
システム管理コンソールデバイス リストページのレポートを作成 オプションを使用して作成したレポートを、組織 > デバイスSQLレポート に保存しようとする、レポートの詳細の編集 ページにMySQLエラーが表示されていました。	K1-18762
ユーザーをCSVまたはXLSファイルにエクスポートすると、エラーが発生することがありました。	K1-18756
名前にドイツ語のウムラウト文字が含まれるユーザーは、Eメールを使用してチケットを作成できませんでした。	K1-18709
親チケットに子チケットを追加すると、親チケットの作成日 および 作成者 フィールドに、子チケットの情報が表示されていました。	K1-18576
Internet Explorer 11 でチケットの詳細を表示する際、ユーザーコンソールのURLに/useruiが含まれていないと、スクリーンショットの貼り付け オプションを選択することができませんでした。その他のブラウザでは、このオプションが正常に表示されていました。	K1-18556
ユーザーコンソールライブラリに表示されるソフトウェアタイトルを、デバイスラベルに基づいてフィルタできませんでした。	K1-18445

解決済みの問題	問題 ID
デバイスラベル別でも制限を有効にすると、ソフトウェアがユーザーコンソールライブラリに表示されませんでした。	K1-18399
独自のラベルグループに割り当てられたラベルによって、インベントリページとラベルページで問題が発生していました。	K1-18332
デバイスページでIPアドレス列のリストの並べ替えが正常に機能しませんでした。	K1-18179
正しいタイムアウトが指定されていても、エージェントでプロセスタイムアウトが正しく処理されませんでした。その結果、予定の時間に設定どおり警告タイムアウトが発生しませんでした。 修正点：このリリースではエージェントのタイムアウトが正しく処理され、警告が設定どおりタイムアウトされるようになりました。	K1-18112
i 注: システム管理コンソールのエージェント設定ページで設定されたエージェントプロセスのタイムアウトが、設定されているすべての警告タイムアウトより優先されます。エージェントプロセスのタイムアウトは、必要な警告タイムアウトに対応できる十分な長さにする必要があります。長さが十分でないと、エージェントプロセスがタイムアウト時間に達した時点で警告は終了します。	
カスタムインベントリによる高度な検索を使用してデバイスリストをエクスポートすると、データベースエラーが発生していました。	K1-18067
マイクロソフトセキュリティ情報MS12-060のバッチ検出が、エラーコード89で失敗していました。	K1-17189
シングルサインオン (SSO) ユーザーは、デフォルトの組織の使用を強制されていました。	K1-17157
長い行を含むPDFレポートの形式が正しくないために、情報の損失が発生していました。	K1-17150
システム管理コンソールでOSアーキテクチャを条件として高度な検索を実行すると、問題が発生することがありました。	K1-17057
LDAP SSOのデフォルト (オブジェクトコンテナ、コンピューターコンテナ、およびコンピューター名) をオーバーライドすることができませんでした。	K1-13823
このリリースでは、ルートCAをca-root-nss.crtに指定するオプションが追加されました。	ESMP-4833

既知の問題

このバージョンのリリース時点で存在している既知の問題はありません。

システム要件

K1000 7.1をインストールするために必要な最小バージョンは7.0 (7.0.121306) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。K1000 6.3 以前でアプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして、ページの左下で K1000 のバージョン情報 をクリックします。



注: バージョン 7.1 の場合、K1000 のバージョン情報 リンクは ヘルプ パネルにあります。ページの右上隅にある疑問符をクリックして、表示されるウィンドウの右下隅にある K1000 のバージョン情報 をクリックします。

バージョン 7.1 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、K1000 の技術仕様で確認できます。

- 物理アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
- 仮想アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在 K1000 の製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めて K1000 を使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。追加のリソースに移動して、適切なガイドを確認します。



注: バージョン 7.1 の製品ライセンスは、バージョン 6.3 以降を実行する K1000 アプライアンスでのみ使用できます。バージョン 7.1 のライセンスは、6.0 など K1000 の以前のバージョンを実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

Service Pack を適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- アップデートの準備
- アドバタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバーのアップデート
- アップデートの手動によるアップロードと適用
- アップデート後のタスク

アップデートの準備

K1000 サーバーをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- K1000 サーバーのバージョンの確認：このリリースをインストールするために必要な最小バージョンは 7.0 (7.0.121306) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

i 注: バージョン 7.1 の場合、K1000 のバージョン情報 リンクは ヘルプ パネルにあります。ページの右上隅にある疑問符をクリックして、表示されるウィンドウの右下隅にある K1000 のバージョン情報をクリックします。

- 開始前のバックアップ：データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップを K1000 サーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『K1000 管理者ガイド』 (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/administrator-guide/>) を参照してください。

アドバタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバーのアップデート

管理者コンソールの ダッシュボード ページまたは アプライアンスのアップデート ページで、アドバタイズされたアップデートを使用して、K1000 サーバをアップデートできます。

! 注意: アップデート中、K1000 サーバーを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。
確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。

i 重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。また、アップデートが適用されている間、アプライアンスは 4 回再起動されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン7.1が適用され、K1000サーバが複数回再起動します。進行状況が管理者コンソールに表示されます。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、K1000サーバを更新できます。

! **注意:** アップデート中、K1000 サーバーを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、K1000サーバの.kbinファイル (7.1 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、**アプライアンスの更新** をクリックして、**アプライアンスの更新 ページ** を表示します。
4. **手動によるアップデート セクション**で次の操作を実行します。
 - a. **参照 または ファイルを選択** をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. **アップデート** をクリックし、**はい** をクリックして確認します。

i **注:** アップデートの適用中、進捗を示す画面は表示されません。また、ブラウザがハングする可能性があります。この問題はバージョン7.1で解決していますが (「**解決済みの問題**」の K1-19220の項を参照)、前バージョン (7.0) からアップデートするときにこの動作が依然として発生します。

バージョン7.1が適用され、K1000サーバが複数回再起動します。管理者コンソールは、アップデートが完了するまで利用できません。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

K1000 のバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. **アプライアンスのコントロールパネル** に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、**設定** をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから **システム** を選択し、**設定** をクリックします。
2. ページの右上隅にある疑問符をクリックして、表示されるウィンドウの右下隅にある K1000 のバージョン情報をクリックして、現在のバージョンを確認します。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

注意: これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
 - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

テザリングが確立されている場合は、トークンがKACEサポートに提供される必要があります。詳細については、を参照してください。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
物理アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：物理アプライアンスおよび仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/7.1/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.1/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、以下の言語のローカライズ版が用意されています：フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへの Quest の促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社はお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに。

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

セールスまたはその他のお問い合わせについては、<https://www.quest.com/jp-ja/company/contact-us.aspx>を参照するか、1-949-754-8000までお電話ください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルでは、迅速に独力で問題を解決するために使用できるセルフヘルプツールを年中無休（24時間体制）でご利用いただけます。サポートポータルでは次のことを行うことができます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法律上の注意

Copyright 2017 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at <https://www.quest.com/jp-ja/legal/>. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンス (K1000) リリースノート

更新日 - 2017年9月

ソフトウェアバージョン - 7.1